

ななだ
広報

若さはじける

【町民芸術祭：「なかよしだんすくらぶ」
のヒップホップダンス…関連記事11頁】



No.
1254

今号の主な内容

特集：地元県立小規模校の現状から考える
“山田高校の魅力って何だろう”

町のわだい
天空海闊

2～7

10～11

16～17

CONTENTS

12月1日号 2022

町や関係機関と連携しながら地域課題の解決などに取り組む「ふるさと探究」の全国表彰をはじめ、ポト部のインターハイ出場など、このところ県立山田高校（晴山俊校長・生徒77人）の生徒らの活躍ぶりは目覚ましく、本紙でもその模様を紹介してきました。そんな活力と魅力を備えた同校でも、少子化を背景に入学者の減少問題が深刻化し

ています。入学者の確保につなげようと多種多様な学びを実践しながら、まちづくりにも貢献している同校のさらなる魅力向上への取り組みが求められています。本号では、同校を取り巻く現状や生徒の目線から見た学校の魅力などをお伝えしながら、町内に立地する唯一の県立小規模高校の今と未来を考えます。

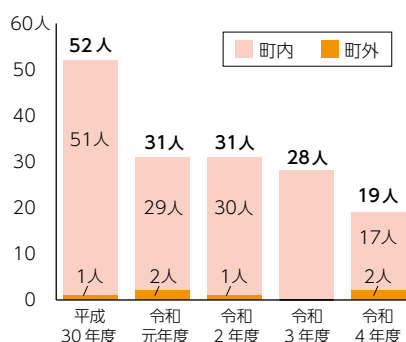
地元県立小規模校の現状から考える

“山田高校の魅力って何だろう”



長崎街道沿いで花壇づくりを行う山高生。地域でのボランティア活動へ積極的に参加する姿が見られます

■グラフ1 入学者数の推移



**入学者の減少が深刻
令和4年度は19人に**

現在、県立山田高校は1学年1クラスの計3クラスとなっていて、県内では1学年3学級以

下の「小規模校」に位置付けられています。クラスの数も左右する毎年度の入学者は、グラフ1のとおり年々減少。平成30年度に持ち直したものの、令和4年度は19人と大きく落ち込みました。

**2年連続20人以下で
原則公募停止対象に**

県教育委員会の「新たな県立高等学校再編計画」（後期計画）の基準では、直近の入学者が2年連続で20人以下となった1学年1学級の高校は、原則として翌年度から募集停止の対象にな

り、統合に向けた協議が進められることになっています。

このため、令和5年度の入学人数の確保が大きな課題となる同校では、学校や保護者、地域関係者などで組織する学校運営協議会の場でも取り上げるなど、今後の学校運営のあり方や魅力づくりの方策などの話し合いが進められています。

**各校が魅力向上させ
将来担う人づくりへ**

県内では、全日制62校のうち30校が小規模校となっていて、少子化による生徒数の減少に伴

山高OBの声

私の母校である山田高校は今年で創立96周年を迎え、地域や地域産業を担う人材を数多く輩出してきました。地元には高校があるのとないのとは、町の活気も違ってきますし、廃校は何としても避けたい問題ですね。

私は長年、ボート部のOBとして後輩たちの活躍を見てきました。年々減少する入学者数の影響で部員数も減りましたが、インターハイへの出場は40回を超え、各種大会では数々の優勝



山田高校同窓会長
佐藤 宏光 さん(69)

素晴らしい学びの場のPRを

旗を手にしています。小規模校であっても、全国でも通用する力を持っているというのは、とても誇らしいことで同校の魅力の一つです。この魅力を町内外でポート競技に興味を持っている児童生徒にPRするほか、もっと学校に幅広く魅力を感じてもらい取り組みがあれば、他市町村、他県の児童生徒も山田高校を進学先の一つとして考えてくれるのではないのでしょうか。

親の目線で言えば、大学進学や就職などの将来の選択肢の幅を広げられる高校かどうかという点も気になることです。近隣の進学校に比べると、国公立大学への進学こそ少ないですが、確実に目標を達成していますし、そのための実力を伸ばせる学習環境があって、地域活動への参加や高校生議会での行政への提言など、生徒らの知見を広げる機会も多く設けられています。このような学習を通して身に付けた力は大学入試においても大きく評価されていると聞いています。地域に開かれた素晴らしい学びの場があり、これからも実績を積み重ねていくだけの力を持っている学校であるということを町内外のあらゆる世代に発信していけるといいですね。

創立100周年まであと4年。大きな節目をたくさん笑顔で迎えられるよう、これからも「山田高校を支える会」と力を合わせて、同校の取り組みを支えていきたいです。

特集 山田高校の魅力って何だろう

多種多様な学び通し まちづくりにも貢献

山田高校では独自の特色化・魅力化ビジョンを掲げ、「ふるさと探究」やボランティア活動、他校との交流など多種多様な取り組みを進めています。山田高校の魅力を考えたとき、生徒らのこのような学びと実践が地域の活力となつて成果を挙げていることに着目しなければなりません。

例えば、オランダ島の島内避難訓練で貴重な所要時間の実測データを町側へ提供したり、高

い、さらに規模が縮小する学校が増えるものと見込まれています。高校の特色化や魅力化が叫ばれる今日、県教育委員会が定める高等学校再編計画や「いわての高校魅力化デザインfor 2031」では、将来の地域や社会の担い手となる人材の育成が高校の持つ重要な役割とした上で、「主体的」「協働的」「探究的」な学びを全校共通の視点の一つに掲げています。各学校では、地域や関係機関との連携・協働による教育活動が今後、一層重要視されることから、魅力向上のための、さらなる特色ある取り組みが求められています。

町は町内に立地する 唯一の県立高校支援

校生議会で提言した「学生応援宅配便」が新成人へ拡大されたりするなど、彼らが自ら考え実践したことが、さまざまなまちづくりの分野に生かされています。こうした町と連携した「ふるさと探究」を中心とする教育体制は「第10回キャリア教育連携推進表彰」で優秀賞を受賞するなど、全国でも高い評価を得ています。

令和3年2月に結ばれた連携協定の下に町や地域と連携した教育活動を進め、地域の活性化に貢献している山田高校を支援しようと、町は令和4年度から「山田高校魅力向上応援補助金」(200万円)の交付を行うことを決めました。学校では、入学費用や修学旅行、芸術鑑賞の費用補助に充てるようです。

このような生徒への経済的支援も学校の大きな魅力の一つ。でも、このことだけで、すぐに効果が上がるとは限りません。子どもたちが「入りたい」と思う学校にするために、何が求められるのでしょうか。町内に立地する唯一の県立高校の生徒確保の問題は、地元にとっても重要な課題と言えます。

在学生3人が見詰めます

私たちが思う学校の今と未来

実際に通学している生徒の目線から見た山田高校の魅力って何なのでしょう。11月11日に役場で開かれた広報座談会で、3年生3人が「私たちが思う学校の今と未来」をテーマに活発に意見を交わしました。出席者は中屋^{けんすけ}絢介君、川村^{ゆうい}優依さん、山寄^{なせ}大成君。進行役は、町政策企画課の芳賀^{だいすけ}大輔主事です。

入学した理由

徒歩・自転車通学できること

他校との交流が刺激に

ボート部の姉の影響受け

芳賀 本町を含む宮古管内には、県立高校がいくつもありますが、皆さんがその中から山田高校を選んだ理由は何ですか。

中屋 私が山田高校を選んだ大きな理由は「家から近い」からです。単純な理由のように感じるかもしれませんが、自転車を通える距離なので町外の高校に通うよりも交通費が掛かりません。朝早く登校したいときは早く、急がないときはゆっくりと起きることができて、自分で時間の調整をすることができま

す。これらは地元校に通う大きな

メリットだと思います。

川村 私の入学理由は二つです。まず一つ目は、山田高校に



砂浜での熱戦「海の運動会」

毎年8月に浦の浜海水浴場で行われる「海の運動会」は、雫石高校も参加し、熱戦を繰り広げています



通っていた知り合いの方が、私が目指す大学に入学したという話を聞いて、同じように進学したいなと思ったからです。もう一つは、山田高校に通っていた兄が、地域でのボランティア活動や八幡平市の平館高校、雫石高校との交流行事のことに楽しそうに話すので、中学校の同級

生以外にも出会いの場があることを知って安心したからです。

山寄

私は、姉が山田高校のボート部に所属していたこともあって、たくさんの方に出場したり入賞したりと、活躍する姿を近くで見っていました。同じボート部に入って自分も活躍したいという思いから山田高校を選びました。

芳賀

中屋君の言うように、徒歩や自転車を通える距離だと、保護者にとっても経済的負担が少ないですし、時間にゆとりができるというのも、地元校の魅力の一つです。川村さんや山寄君のように、身近な人から山田高校での学生生活の様子を聞き取る機会があると、入学後の楽しめがたり不安も和らいだりするかもしれませんね。



進行役・芳賀 大輔
(町政策企画課主事)



中屋 絢^{けん}介^{すけ}君(3年)

後楽地区出身。中学は卓球部、高校ではボート部に所属。大好物はアイスやケーキ。



川村 優^ゆ依^いさん(3年)

長崎地区出身。中学、高校は陸上部に所属。オムライスやハンバーグなどの洋食好き。



山崎 大^{たい}成^{せい}君(3年)

船越地区出身。中学はサッカー部、高校ではボート部に所属。大好物は母の手料理。

芳賀 皆さんが過ごしてきた学校生活の中で印象的な活動や思い出深い活動はありますか。

中屋 私はボート部での活動が思い出深いです。選手として、インターハイにも出場できるほどの力を身に付けることができましたし、合宿や大会への参加を通じて、多くの方々を支えられて自分たちが活動できていることに気付くことができました。心も体も成長できたと思います。

山崎 私も中屋君と同じボート部での活動です。引退するまで仲間と過ごす時間がとても楽しく幸せでした。練習や合宿は、厳しいメニューばかりでしたが、目標に向かって励まし合いながら乗り越え、仲間の大切さを実感しました。

川村 私は、NHKが主催した次世代への震災伝承を考える「TENDENKOクラブ」の活

在学中の印象深い活動など 部活動で成長できたこと 小学生に行った防災授業



動です。高校生が船越小学校の子どもたちに授業を行い、津波の恐ろしさや命を守る行動など

を伝えるというもので、児童たちが飽きないよう身振り手振りを交えたり、漢字を使わずに表現したりと工夫を凝らしました。「ふるさと探究」の震災学習での学びを生かすきっかけにもなりましたし、次世代に伝えることの難しさも体験できました。

芳賀 2人のように仲間とボート競技に熱中できる環境は魅力と言えますね。川村さんの震災伝承の活動は、被災した現地を見たり経験者の話を聞いたり、被災地の高校だからこそ、できる取り組みだと思います。

他校にはない魅力 砂浜で行う「海の運動会」 結果残せるボート部

芳賀 在校生から見ても、他校にはない山田高校の特色や魅力はどういうところでしょうか。

中屋 毎年、浦の浜海水浴場で行う「海の運動会」は地元で自然環境を生かした特色がある行事で魅力的だと思います。砂浜で行うビーチフラッグやフットサル、海上でのカヌー競争などがある、陸上にはない楽しさがあります。雫石高校の生徒も参加するので、より楽しいです。

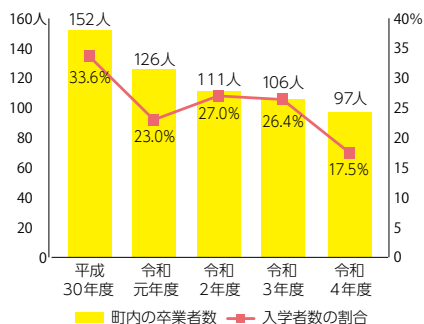
川村 私も同じ意見です。冬には雫石高校の「雪上運動会」に招待されるので、運動会を通じて交流をしているというのも魅力だと感じています。

山崎 私は、初心者でも結果を残せるボート部が魅力だと思います。山田湾や艇庫などの練習環境も整っていて、入部する生徒はみんな初心者にもかかわらず、インターハイに40回以上も出場している実績があるのは素晴らしいことだと思います。

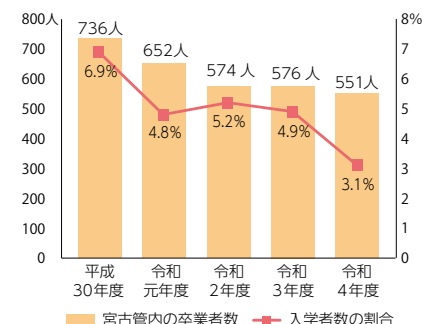
次ページへ続きます

■グラフ2 町内・宮古管内の中学校卒業生数に占める山田高校入学人数の割合
(中学校卒業生数は、県教育委員会資料から)

◎町内



◎宮古管内



入学者が減る理由 学校からの情報発信不足 出会いと部活動の少なさ 少子化が大きな要因

芳賀 もうすぐ創立100周年を迎える山田高校ですが、皆さんも知っているとおり、現在、入学人数は減ってきています。

その理由は何だと思えますか。

中屋 年々後輩の人数も減り、部活動の数も減ってしまつてとても寂しいです。入学者が少ないのは学校の「魅力不足」と「情報発信不足」だと思います。

川村 中屋君の言う魅力不足にもつながりますが、入学後の「新しい出会いが少ない」「部活が少ない」ことも要因だと思います。現在、運動部は六つで文化部は二つとなりました。部員も少ないので、十分な活動は望めないという理由から他校に進学する人も多いようです。「部活動の充実」というのも進学先



生徒主体の体験入学会

グループに分かれ、山高生が魅力や学校生活を紹介。中学生の素朴な質問にも優しく答えます

川村 ちなみに体験入学会で多かった質問は「校則」で、髪型の許容範囲とかを気にする人が多かったです。「校則」を公表してみるのも、進学先を考えるときの参考になると思いました。

芳賀 県内の小規模校では、入学を増やす取り組みが進められているようです。中学生を山田高校に呼び込むためには、どのような取り組みや対策が必要だと考えますか。

山崎 中学3年生に焦点を当てた情報発信も必要ですね。今年7月に行った体験入学では、山高生が中学生に山田高校の魅力伝える交流会を設けました。こういった在校生の声を聞くことができる場をどんどん増やしていく、魅力を伝えていくといいと思います。

入学者を呼び込む取り組み SNSでの情報発信が効果的 中学生との交流の場を増やす 男子トイレの洋式化

を考えるとときの大きな要素になっていると思います。

山崎 私はそもそも、「町内の子どもが減っている」ことが要因だと思っています。少ない人数から町外の高校に分散するので、その中で山田高校を選ぶ人は当

然少なくなるのかなと思います。

芳賀 これまでの山田高校の取り組みや3人の話を聞いてみると、十分に特色はありますし、魅力は多いと感じます。ただ、少子化の状況を踏まえた魅力の発信が必要ですね。

中屋 私は「トイレ環境」も進路選択の要件になると感じています。山田高校の男子トイレは和式しかありません。体験入学会で男子トイレを利用した中学生は、和式しかないことを知ってがっかりしています。なぜなら、山田中学校は洋式だからです。若い人ならこの気持ちに分かりますよね。なので私は「トイレの洋式化」も入学生を増やす対策の一つだと考えます。

願う未来の学校像

地元貢献する
戻ってきたいと思える
地域に親しまれる

芳賀 皆さんは、来年3月に本校を卒業します。最後に皆さんが願う「未来の山田高校の姿」をそれぞれ聞かせてください。

中屋 山田高校は、もうすぐ創立100周年を迎える伝統ある高校です。その伝統を引き継ぎながら、高校生議会でのもちづくりへの提言や震災伝承の取り組みなどで地域に貢献する高校であってほしいです。

川村 私は、卒業生が進学や就職で地元を離れて何年か経った後でも、後輩たちを応援してもらえよう親しみやすい高

校になることを願っています。

山寄 部活動や学校行事などが十分に行える規模になるよう、どうにか入学者を確保して、生徒が活躍する場が多い学校になつてほしいです。それから、これまでのような地域に目を向けた取り組みも続けて、町民の皆さんからも親しまれる学校となることを願います。もちろん「山田高校ポータル部」の名が全国に知れ渡るように、もっともっと活躍することを期待しています。

芳賀 「地域に貢献」という言葉が出てきましたが、先日、山



若者視点で提言する「高校生議会」
「ふるさと探究」の学びの集大成「高校生議会」。若者視点で捉えたまちづくりへの提言が行われます

田高校の皆さんに新・道の駅やまだ「おいすた」で販売する料理や品物のメニュー考案をお願いします。

応援したい未来への取り組み

芳賀 きょう参加していただいた皆さんからは、▼通学費用の抑制や通学時間の短縮▼他校との交流行事を通じた交友関係の広がり▼地元の自然を生かした「海の運動会」などの学校行事▼まちづくりへの参加——といった点が山田高校の持つ魅力として挙げられました。その上で、入学生を増やすためには、▼中学生に直接魅力を伝える交流の場を増やすこと▼町内外へ情報発信すること▼学校生活を過ごしやすいするための環境づくりを行うこと——が必要との

いしたところ。このように、まちづくりに自分たちのアイデアが反映されるというのは、どのように感じていますか。

中屋 地域に貢献している実感が湧いて、とてもうれしいです。

川村 今回のメニュー考案もそうですが、町の特産品や特徴などを見詰め直す貴重な機会だと思っています。今回の私のアイデアも採用されるといいな。

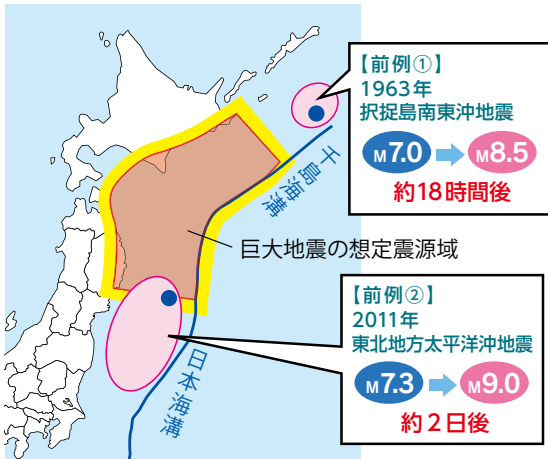
山寄 これからも山田高校の生徒たちが若者視点でのアイデアを地域に提供できる存在であり続けてほしいですね。

ご意見をいただきました。お話を聞き、在校生が課題として受け止める「出会いや部活動の数が少ないこと」といった点への取り組みとしては、「他校との交流事業」や「初心者でも活躍できるポータル部」などの魅力を高め、その魅力を生徒自らがPRしていくことが大切ではないかと感じました。

山田高校が皆さんの願う学校像であり続けるために、みんなで学校の取り組みを応援していきたいですね。きょうはありがとうございました。

特集 山田高校の魅力って何だろう

■過去の巨大地震の発生例



今月16日
運用開始

北海道・三陸沖後発地震注意情報

内閣府では、日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード7以上の地震が発生した場合、より大きな後発地震への注意を呼び掛ける「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用を今月16日に開始します。事前避難や経済活動の制限を求めるものではありませんが、発表後1週間は、個人や企業などで避難経路や非常食の備蓄状況を確認するなど、安全確保に努めましょう。

発表されたら安全確保の徹底を

東日本大震災も後発地震

平成23年3月9日、三陸沖ではマグニチュード7.3の地震が発生。その2日後の3月11日は、本町に壊滅的な被害をもたらしたマグニチュード9.0の大地震が発生しました。東日本大震災も後発地震だったのです。国では、東日本大震災での教訓や過去の発生事例から、注意情報の導入の必要性を判断し、運用への準備を進めてきました。実際に後発地震が起きる確率は、世界の事例を踏まえても1000回に1回程度と低いですが、発生した場合、広範囲で甚大な被害が想定されます。注意情報は、県内では本町を含む沿岸13市町村と内陸部の10市町が対象となっています。

知っておこう六つの備え

情報が発表されたときは、次の六つの備えを徹底しましょう。

①避難しやすい体制での就寝

▼すぐに逃げられるような服



装で就寝する

▼同居する子どもや高齢者、障害者などの要配慮者と同じ部屋で就寝する

②非常持ち出し品を常に携帯

▼貴重品や非常食、懐中電灯などの非常持ち出し品を日中は携帯し、就寝時は枕元に置く

③崩れやすい建物を避ける

▼先発地震で損壊した建物や崩れやすいブロック塀などには近づかない

④土砂災害などへの注意

▼先発地震によって土砂崩れの危険性が高まっている場所には近づかない

▼崖崩れの恐れがある家では、

崖に近い部屋での就寝を控える

⑤緊急情報の受信体制を確保

▼緊急情報を受信できる携帯電話などの音量を普段の設定よりも上げておく

▼ラジオや防災行政無線の受信機などを日常の生活空間に配置する

⑥日ごろの備えを再確認

▼水や食料品などの備蓄の量や賞味期限

▼避難場所や避難経路

▼家族との連絡手段

◆問い合わせ

町総務課危機管理室（☎82-3111内線415）へどうぞ。

この注意情報は、後発地震が発生する可能性が高まっていることをお知らせするもので、必ず地震が発生することを伝えるものではありません。

先発地震を伴わず、大規模地震が突発的に発生する可能性があります。

令和4年度上半期 財政事情の公表

町では、予算の執行状況や町の財産の内訳などの「財政状況」を年2回公表しています。今回お知らせするのは、令和4年度上半期（令和4年9月30日現在）の一般会計予算と特別会計予算の執行状況などです。



納めていただいた税金を適切に執行していきます

一般会計予算の執行状況

〔単位：千円、％〕

歳 入					歳 出			
区分	科 目	予 算 額	収入済額	収 入 率	科 目	予 算 額	支出済額	執 行 率
自主財源	町 税	1,248,395	726,649	58.2	議 会 費	92,733	46,523	50.2
	分担金・負担金	65,784	27,836	42.3	総 務 費	1,679,383	558,348	33.2
	使用料・手数料	108,469	56,632	52.2	民 生 費	2,632,493	805,661	30.6
	財 産 収 入	81,469	38,243	46.9	衛 生 費	670,782	213,824	31.9
	寄 附 金	214,170	94,425	44.1	労 働 費	1,969	554	28.1
	繰 入 金	891,747	0	0.0	農 林 水 産 業 費	459,019	98,451	21.4
	繰 越 金	379,394	379,394	100.0	商 工 費	1,541,514	644,752	41.8
	諸 収 入	81,254	29,959	36.9	土 木 費	1,618,188	195,712	12.1
依存財源	地 方 譲 与 税	58,400	32,235	55.2	消 防 費	464,237	190,123	41.0
	地 方 交 付 税	3,473,675	2,433,827	70.1	教 育 費	2,071,853	412,310	19.9
	国 庫 支 出 金	1,907,625	168,261	8.8	災 害 復 旧 費	8	0	0.0
	県 支 出 金	683,951	44,394	6.5	公 債 費	737,236	364,818	49.5
	町 債	2,470,683	0	0.0	予 備 費・その他	30,001	0	0.0
	そ の 他	334,400	209,340	62.6	計	11,999,416	3,531,076	29.4
計		11,999,416	4,241,195	35.3				

特別会計予算の執行状況

〔単位：千円、％〕

区 分	予 算 額	収入済額（収入率）
		支出済額（執行率）
国民健康保険	2,154,883	912,122（42.3）
		739,196（34.3）
後期高齢者医療	209,131	60,744（29.0）
		46,320（22.1）
介護保険（事業勘定）	1,951,082	864,815（44.3）
		754,439（38.7）
介護保険（サービス事業勘定）	3,703	2,416（65.2）
		1,230（33.2）
漁業集落排水処理事業	172,719	12,310（7.1）
		71,089（41.2）
公共下水道事業	521,325	30,326（5.8）
		132,825（25.5）

町債の現在高

区 分	金 額
一 般 会 計	104億4,354万 1千円
特 別 会 計	28億3,794万 7千円
漁業集落排水処理事業	7億4,569万 3千円
公共下水道事業	20億9,225万 4千円
合 計	132億8,148万 8千円

町有財産の内訳

区 分	内 訳	数 量
土 地	行政財産	1,826,382㎡
	普通財産	13,795,612㎡
	うち山林	9,036,712㎡
	立木推定蓄積量	275,809㎡
建 物	行政財産	105,300㎡
	普通財産	31,804㎡
物 品	町有自動車	88台
出 資 証 券	株券・出資金	1億2,593万 2千円
基 金	財政調整基金	67億7,890万 4千円
	その他の基金	34億8,227万 2千円

来年の「全国植樹祭」盛り上げよう 県内で「木製地球儀」の展示リレー

来年6月に陸前高田市で開かれる「第73回全国植樹祭」の機運を盛り上げようと、県内市町村では前回開催県の滋賀県から引き継がれた「木製地球儀」の展示リレーが行われています。この地球儀は第52回山梨県大会で森林や林業の役割をイメージして作られたもの。11月17日には県から町への引き渡しが行われ、21日までの5日間、町中央コミュニティセンターで公開されました。本町が21番目となった同リレーは、今年7月の八幡平市を皮切りに約8カ月を掛け式典会場の陸前高田市に引き継がれます。



ハロウィン行事で市街地にぎわう 仮装の子どもらが元気に街中練り歩く

“トリック・オア・トリート”。合言葉を唱える元気な声が街中に響きます。町商工会青年部（小野浩人部長）が主催する「やまだのハロウィン2022」が10月29日に行われ、仮装した子どもたち約350人が市街地を練り歩きました。スタンプラリーを取り入れたこのイベントは、町ふれあいセンターを出発し、ポイント地点となった周辺の店舗などからスタンプを押してもらうと、お菓子や特典がもらえるという設定。悪魔や映画キャラクターに扮した子どもたちには楽しい特別な1日になったようです。

日本の密漁対策の現状は 海外研修員が漁協や養殖施設視察

日本の密漁対策の現状を学ぼうと、(独)国際協力機構で受け入れたアフリカ各国の研修員らが10月20日、三陸やまだ漁協を視察しました。来町したのは自国で違法、無規制に行われる漁業対策に従事する6カ国の行政機関の職員10人。研修では、密漁防止の監視体制などの説明を受け、監視船に乗り養殖施設を見学しました。漁協組織が無く、政府直轄で漁業者を管理するコンゴ民主共和国のパトリシア漁業監督官は「漁業者同士の監視が重要と感じました。政府に報告し啓発したいです」と話していました。



「工事用トラックって大きいな」 山田小1年生が“働く車”の乗車体験

“働く車”に乗ってみよう。11月10日、山田小学校（佐々木哲也校長、児童358人）の1年生66人は、建設現場で使われる作業用自動車の乗車体験を行いました。実際に社会のいろいろな場面で活躍する自動車を観察し、身近に存在する仕事を知ってもらおうと行われたもので、児童らは地元建設業者から説明を受けながら校庭に用意されたトラックやダンプなどへ乗り、役割や構造などを学習。参加した森下結夏さんは、「教科書で見るよりすごく大きかったです」と迫力感到驚いた様子でした。



町のあだい

今月の題字 佐々木 ^{あいと}愛叶君（船越小4年）



秋を彩る町民芸術祭 感性と創造性の共演が観衆魅了

町民の優れた芸術作品や文化活動の成果を発表する町民芸術祭が、10月から11月にかけて町中央公民館を主会場に開かれました。10月29日と30日に行われた展示部門では、書道や短歌、日本画、手芸作品など478点がずらりと会場に並べられ、訪れた人たちは感性と創造性に富んだ作品の数々に足を止め見入っていました。舞台部門は10月23日の「民謡と踊りの集い」を皮切りに吹奏楽やピアノ、ヒップホップダンスと日ごろの活動成果を大ホールで披露。出演者たちの熱演に客席から盛んな拍手が送られていました。



織笠コミュニティ きずな深めて半世紀 創立50周年 郷土芸能などで節目祝う

10月23日、織笠地区コミュニティ推進協議会（佐藤澤利勝^{かつ}会長）の創立50周年記念式典が織笠コミュニティセンターで行われ、地区住民など約90人が出席しました。佐藤澤利勝会長は「昭和、平成、令和といろいろな出来事がありましたが、これからも織笠に住んで良かったと思われるよう地域のきずなを深めたい」とあいさつ。祝賀会では郷土芸能などが披露され、出席した皆さんは和やかに節目を祝い合っていました。同団体は昭和47年の創立から半世紀にわたり住民自治に取り組み、令和3年度には県の「元気なコミュニティ特選団体」に認定されています。



来年4月の入園児を募集します

保育所（園）

町では、来年4月1日から保育所（園）を利用する世帯の受け付けを行います。入園を希望する人は、お申し込みください。

入園児を募集する保育所（園）と定員などは下表のとおりです。
▽入園資格 町内に住所があり、保護者の▽就労▽妊娠・出産・疾病・障害▽親族の看護・介護▽求職活動——などの理由で、保育が必要となる幼児
▽申し込み方法 町健康子ども課に備え付けか、町のホームページに掲載している入所申込用紙に必要事項を記入し、就労証明書などの必要書類を添えて提出してください。

遊具で遊ぶ船越保育園の園児たち

※申し込みの際に家庭状況の聞き取りを行いますので、家庭の事情に詳しい人がお越しください。
※保育所（園）では、申し込みの受け付けを行いませんのでご注意ください。

意ください。

▽受付期間 12月1日～27日

※土・日曜日を除く

▽受付時間 午前8時半～午後5時15分

※休日保育の利用は各施設へお問い合わせください。

◆**申込先・問い合わせ** 町健康子ども課子ども子育て係（☎82-3111内線601）へ。

山田幼稚園

山田幼稚園では、入園児を随時募集しています。

来年2月に「1日入園、入園説明会」を予定しています。

▽募集定員

▽満3歳児（2歳児）、3歳児：23人

▽4歳児：21人

▽5歳児：15人

※満3歳児（2歳児）は、令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれの児童です。

▽受付時間 平日 午前9時～午後5時

▽申し込み方法 同園に備え付けの願書に必要事項を記入し、入園料（3万円）を添えて申し

込んでください。

▽その他

・在園児を対象に、平日や土曜日、長期休みの際に預かり保育を行っています。受け入れ時間は午前7時半から午後6時までです。

・幼児体育指導者による体育教室を行っています。
・給食の提供は週5回です。
・スクールバスでの送迎を行っています。

◆**申込先・問い合わせ** 山田幼稚園（☎82-3360）へどうぞ。

とよまねこども園（教育機能）

とよまねこども園では、教育機能を利用する児童を随時募集しています。来年2月18日には「入園説明会」を行いますので、参加を希望する人は来年1月31日までにお申し込みください。
▽入園資格 3歳～5歳の児童
※保護者の就労状況などは問いません。

▽定員 6人

▽受付時間 平日 午前8時～

◆保育所（園）の募集定員と保育内容

保育サービスの種類…①一時預かり②延長保育③病児保育

保育所（園）名	定員	保育サービス			開所時間
山田町第一保育所	70人	①	②	③	午前7時～午後6時 ※延長保育は午後7時まで
山田第二保育所	30人	①	②	—	
山田中央保育園	50人	①	②	—	
織笠保育園	80人	①	②	—	
大沢保育園	40人	①	②	—	
日台きずな保育園	20人	①	②	—	
とよまねこども園	74人	①	②	—	午前7時半～午後6時
船越保育園	45人	①	—	—	

午後5時

▽申し込み方法 同園に備え付けの願書に必要事項を記入し、園に直接お申し込みください。

▽その他

・在園児を対象に、平日や土曜日、長期休みの際に預かり保育を行っています。受け入れ時間は午前7時から午後7時までです。

・音楽活動や英語活動、お茶会、幼児運動などを行っています。給食の提供は週5回です。

◆**申込先・問い合わせ** とよまねこども園（☎86-2745）へどうぞ。

山田空手道スポ少団員が活躍

11月に行われた第2回東北少年少女空手道選抜大会と第23回岩手県スポーツ少年団空手道大会で山田空手道スポーツ少年団(佐々木 博代表)の団員3人が上位に入賞しました。

東北選抜大会

団体形・鈴木さん 見事3位入賞

11月5日、6日に宮城県名取市で行われた第2回東北少年少女空手道選抜大会で、北上市で活動する空手道場の2人とチームを組み出場した鈴木そあらさん(山田小5年)が、団体形で3位入賞を果たしました。

来年2月に北海道帯広市で行われる第2回全日本少年少女空手道選抜大会への出場が決まった鈴木さん。大会を終えて「とても緊張して思うように体が動きませんでしたが、3位に入賞することができてうれしいです。全国大会では優勝できるように日々の稽古を頑張ります」と闘志を燃やしています。



鈴木そあらさん

県大会

組手・形・湊さん 竹内さん 共に準優勝



湊凜風さん



竹内心遥さん

11月12日に岩手県営武道館(盛岡市)で行われた第23回岩手県スポーツ少年団空手道大会の小学1年女子組手の部で、湊凜風さん(山田小)が、同形の部で竹内心遥さん(同)と共に準優勝に輝きました。さらに2人は、出場した同組手の部と同形の部でもそれぞれ3位に入賞する活躍ぶりです。

湊さんは「形と組手両方の部で入賞できてうれしいです」と喜びをかみしめ、竹内さんは「もっと稽古をしてたくさん賞を取りたいです」と意気込んでいます。

県大会

山田小相撲クラブ 団体・個人で上位入賞

10月10日に岩手県営武道館相撲場(盛岡市)で行われた「スポーツフェスティバル2022ちびっ子相撲大会」で山田小学校相撲クラブが団体戦で3位、個人戦でも4人が上位入賞する活躍を見せました。

今大会が小学校最後の試合となった田代旺大君(6年)は「優勝できず悔しいですが、小学校最後の大会で3位になってとても嬉しかったです。これからも相撲を楽しみたいです」と目を輝かせていました。

大会には、県内6市町村から63人が参加し、ちびっ子力士による熱戦が繰り広げられました。

◆個人入賞者 ▶男子小学校2年生の部3位…佐藤泰士 ▶同3年生の部3位…田代啓人 ▶同5年生の部準優勝…織笠克樹 ▶同6年生の部3位…田代旺大〈敬称略〉



左下から田代啓人君(3年)、佐藤泰士君(2年)、内藤琉依君(5年)、左上から植村祥多教諭、伊藤佑功君(5年)、織笠克樹君(同)、田代旺大君(6年)、佐藤真士君(同)

町長室から

12月という月は何かと慌ただしい。昔は支払いといえはお盆や年の暮れと決まっていたから、支払いをする人も取り立てをする人も忙しかったことだろう。私の子どもの頃には、すす払いと称して畳を干したり障子を張ったりと本当に忙しいものであった。6畳間の畳は、たった6枚だが、天日干しの後にそれぞれ元の位置に戻すのがひと苦労である。裏に書いてある数字のまま敷いてもピタリとはまらず、家族で話し合いが行われるのだ。ただ楽しみもあって、畳の隙間に百円玉などがあるとこれはもう大喜びである。当時は百円で多くのお菓子を買つことができたから子供にとつて百円玉の発見は大事なのだ。私は気付かれないようにそっとポケットに入れた。今年の12月はどのような月になるのだろうか。皆さんが晴れ晴れとした気持ちで新年を迎えられるための年末であってほしいと思う。

山田町長 佐藤 信逸

みんなのスペース

やまだ文芸広場

山ぼうし

えのぐ塗ったごとし

真赤な実

甘いあまい

木の不思議

小林 りつ子

釜の蓋

あけて新米

輝り立つ

八十八度ハチジュウヤツデの

農の業に感謝す

ゑるこ

晩秋の

風と大地と草花の香り

田舎のくらし

すばらしき

10月19日作 ①

稲の葉の

戦ぐほどに

伸びたれば

雑草もまた

劣らずに伸び

内館 洋一

短歌

老人会

紅葉狩りにバスの旅

リング売場で

大沢訛が温かい

大川 ヒメ子

五行歌

ありがとう

言っても言われても

ほんわか幸せ

残りの人生

ありがとうで終われたら

菊田 ミヨ子

今月は
虹の写真が
届きました



小林 秀人



佐々木 ムツ子

山田湾

六ヶ村に囲まれて

見る者の心を癒して

生活をも潤わす

真中に、そびえてるのは

オランダ島か？

イヤ違う オラホ山田の

宝島、大島ダ！

佐藤 やす子

広報クイズ

No.305

全問正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント！3つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- ①北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された場合、皆さんのすべき行動は「○の徹底」？
 ① 気道確保 ② 安全確保
 ③ 人材確保
- ②町民芸術祭で「なかよしだんすくらぶ」が披露したのは「○ダンス」？
 ① ホップステップ
 ② ヒップアップ
 ③ ヒップホップ
- ③県内で展示リレーが行われている展示物は「○地球儀」？
 ① 木製 ② 鉄製 ③ 紙製

【応募方法】 はがきに下記の内容を記載しご応募ください。当選者の氏名、年齢、地区名は来月1日号で発表します。応募は1人1通です。

63 〒028-1392

山田町役場
広報クイズ係
行

・クイズの答え

(例) ①-A
 ②-B
 ③-C

・氏名
 ・年齢
 ・住所
 ・連絡先

「みんなのスペース」へのイラストの投稿を兼ねる場合は、氏名などの情報を表面に記載してください。

【締め切り】 12月15日(当日消印有効)

【当選者発表】 前回の正解は、①-A、②-B、③-Cでした。応募数は41通、抽選の結果次の10人が当選しました。

▶荒川…佐藤美奈子▶豊間根…芳賀秀子▶大沢…芳賀恵子、大川ヒメ子▶飯岡…三浦琴音▶長崎…佐々木瞬▶山田…澤田亮慶▶織笠…小林久美子▶船越…山崎俊作▶北上市…山崎広翔 (敬称略)

「母親の教え」

子どもの頃、七十数年まえの母の教えを思いだしている。母親から「かつ子(菊地サカエ)、草履には緒ぎれ、踏ぎれがあっても、人にはないんだよ」と言われた。人に対して、わけへだてなく仲良くが母親の教えであり、私への訓示かな。

「人は、一生良くても暮らさないし、悪くても暮らさないんだよ」など時どき、母の言葉を脳保存から引きだしている。

私は母親として、子ども達の心に残る話をしたかな？

追 私は戦中派なので学校の「うわばき」は「稲穂の」とったわらであんだ草履」でしたよ。うわばきもはかない生徒たちもいましたよ。

菊地 サカエ



“珍実”！！ 50年に1度しかならないと言われているミョウガを見つけました。赤い部分は実で、白い部分は種が入っているそうです。

阿部 豊美

○皆さんの投稿をお待ちしています○

「みんなのスペース」では、皆さんからの投稿を募集しています。投稿規定を確認の上、郵送やメール、直接持参などで、発行日(毎月1日)のおおむね1カ月前までにご提供ください。

◆投稿規定 ▶住所、氏名(ペンネーム可)、年齢、電話番号を明記すること▶政治、宗教、営利

を目的とするものや、特定の個人や団体をひぼう中傷するものは掲載できません▶行政広報として掲載することが適当でない判断されるものは掲載しません。

◆送付先・問い合わせ 〒028-1392(住所不要)山田町役場総務課情報係(☎82-3111内線416)へ。

教育委員会だより
vol.56

◆問い合わせ ▶町学校教育課総務係
(☎82 - 3111内線313) ▶町生涯学
習課(☎82 - 3111内線621)へ。

天空海闊

—空、とこしえに碧くして 海、穏やかにどこまでも—

読書感想文
コンクール

応募総数722点

優秀作8点決まる

第54回山田町読書感想文コンクールが行われ、審査の結果、応募総数722点から優秀作8点、秀作14点、佳作14点が選ばれました。優秀作の入選者は次のとおりです。



ゆうり
佐藤 侑理 君
(山田小1年)



さき
山崎 咲来 さん
(山田小2年)



なみ
花崎 那南 さん
(山田小3年)



しゅんすけ
木戸脇 駿介 君
(船越小4年)

優秀作に輝いた皆さん



かい
佐々木 翔生 君
(山田小5年)



ひとみ
伊山 瞳 さん
(山田小6年)



らん
斉藤 蘭 さん
(山田中3年)



さやか
阿部 清佳 さん
(山田高2年)



左からふれあいセンター「はびね」佐々木所長、山田ロータリークラブ松本会長、町育英会佐々木副会長

山田ロータリークラブ(松本龍児会長)から山田町育英会(佐

山田RCから善意贈られる 町育英会と「はびね」に寄付金

藤信逸会長とふれあいセンター「はびね」(佐々木慶信所長)へ寄付金10万円が贈られました。10月28日に行われた贈呈式では、松本会長から同育英会の佐々木茂人副会長と佐々木所長へ目録が手渡されました。

今回贈られた寄付金は、同育英会奨学金の原資として高校や大学へ進学する子どもたちの支援に活用されるほか、ふれあいセンター「はびね」の子ども向け絵本の購入費用に充てられます。

17日に体験教室を開催

「アイシングクッキー」を作ろう

町教育委員会では、クッキーの上に砂糖と卵白で練った色とりどりのクリームで飾り付けをする「アイシングクッキー」作りの体験教室を開催します。動物やクリスマスにちなんだデザインなど、かわいいクッキーに仕上がりますよ。友達や家族と一緒に参加してみませんか。

- ▷日時 12月17日(土)午後1時半～3時半
- ▷場所 町まちなか交流センター3階調理室
- ▷参加費 600円(材料費代)
- ▷持ち物 エプロン、三角巾やバンダナ、持ち帰り容器
- ▷定員 12人(小学校低学年以下は保護者同伴)
- ▷その他 ▶完成後のクッキーは持ち帰ります。
▶材料に卵や小麦、乳製品(バター)、ナッツ類(アーモンド)を使います。
- ▷申込期限 12月15日(定員になり次第締切り)
- ◆申込先・問い合わせ 町生涯学習課社会教育係(内線624) へどうぞ。

図書館だより

12

2022.Dec.

日	月	火	水	木	金	土
				1	②	3
4	5	6	⑦	8	9	10
11	12	13	14	15	①⑥	17
18	19	20	②①	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■：休館日 ○：移動図書館

【開館時間】

午前9時～午後7時
※日曜日と祝日は午後5時まで
※新型コロナの感染拡大状況によって、休館日や行事などを変更する場合があります。
◆問い合わせ 町立図書館(☎82-3420)へ。

◆移動図書館運行予定表

滞在時間 (40分程度)	運行日・場所	
	12月2日、16日	12月7日、21日
午前9時半～10時10分	大浦漁村センター ※2日はお休みです	県営北浜アパート
午前10時半～11時10分	船越防災センター	豊間根生活改善センター
午後1時20分～2時	田の浜コミュニティセンター	下条コミュニティセンター
午後2時20分～3時	織笠コミュニティセンター	勤労者体育センター

◎冬休みおすすめ本展示

宿題や調べ学習におすすめな図書を展示します。
▷期間 12月17日(土)～来年1月25日(水)
▷場所 ふれあいセンター「はびね」

新刊図書 PICK UP

■一般図書

- わからないさを生きる哲学 岡山 敬二著
- マンガでわかる日本仏教13宗派 石田 一裕監修
- 競争の番人 2 内偵の王子 新川 帆立著
- ハヤブサ消防団 池井戸 潤著
- オリンピックを殺す日 堂場 瞬一著
- ええじゃないか 谷津 矢車著
- 日本の美しい水族館 銀鏡 つかさ写真・文

■児童書

- お母ちゃんの鬼退治 小手鞠 るい作、川瀧 喜正絵
- 土の大研究 藤井 一至監修
- ふしぎ駄菓子屋銭天堂 18 廣嶋 玲子作、iyajya絵

各種イベント情報

■ふれあいセンター「はびね」

◎クリスマスおはなし会

クリスマスにちなんだ本の読み聞かせを行います。
▷期日 12月18日(日)午前10時半から
▷場所 ふれあいセンター「はびね」
▷対象 幼児、小学校低学年
◆問い合わせ 町ふれあいセンター(☎82-3420)へ。

■町中央公民館

◎第75回岩手巡回美術展

岩手芸術祭美術展の優秀作品77点を展示します。本町在住者の受賞作品も展示されますので、ぜひ足をお運びください。
▷期日 12月7日(水)、8日(木)
▷時間 午前9時～午後4時
▷場所 中央公民館小ホール
◆問い合わせ 町生涯学習課文化係(内線630)へ。

◎企画展「山田の古代史」

本町で発掘された土器や鉄製品などの出土遺物を展示します。郷土の歴史に触れてみませんか。
▷期間 12月5日(月)～25日(日)
▷時間 午前9時～午後5時
▷場所 中央公民館ロビー
◆問い合わせ 町生涯学習課文化係(内線630)へ。

◎歴史講演会「郷土の歴史」

御所野縄文博物館館長の高田和徳氏(かずのり)を講師に迎え、郷土の歴史を知り、未来に伝承することの大切さを学ぶ歴史講演会を開催します。
▷日時 12月11日(日)午後1時半～3時
▷場所 中央公民館小ホール
◆問い合わせ 町生涯学習課文化係(内線630)へ。

教育相談

おなやみ
専用☎82-0783

学校や勉強のことなどで悩みがある方はお気軽にご相談ください。
▷相談日 毎週月・火・木(年末年始、祝日を除く)
▷時間 午前9時～午後4時

鯨峰爽やかに

ほぼ毎日、とある県産の梅干しを食べている。これはなかなかのもので、かつて東京の某デパートの方が気に入って、取り入れたという逸品である▼この梅干しに出会う前、自分で作ってみたことがある。梅はこだわって南高梅を選んだが、シソは市販の着色されたものを使用した。町内の雑貨屋から立派なざるを買ってきて、いざ準備は万端▼作り方は昔の名人のレシピを参考にして塩分量も決めた。竹串で一つ一つヘタを取り、シソと塩だけで漬けるのである。梅干しというくらいだから、天日に三日三晩干さなければならぬので天候も勘定に入れる必要がある。そしていよいよ自家製の梅干しの完成を迎えた▼早速食べてみると、これぞまさに昔の梅干しである。残念ながら家族にはしよっぱいと不評であった▼その後、冒頭の梅干しと巡り合ったので自分で作ることはあきらめて今日に至っている。

教育長 佐々木 茂人

山田北ICのフル化事業

設計図面を町建設課で公開

■山田北インターチェンジフル化完成後の道路イメージ図



三陸国道事務所では、三陸沿岸道路山田北インターチェンジから八戸方面への乗り降りができるようインターチェンジのフル化事業を進めています。

このほど、道路整備の用地範囲を決める設計が概ね完了したことから、10月31日に土地の所有者などを対象とした「設計・用地調査説明会」を行いました。説明会で使用した図面は町建設課で公開されていて、どなたでも見ることができます。質問や意見などは三陸国道事務所まで付けていますので、ご連絡ください。

◆問い合わせ 三陸国道事務所
工務課（☎62-1711）へ。

届け出が必要です

家屋の解体や名義変更

家屋を解体したときや、売買や相続などで名義変更したときは届け出が必要です。届け出がない場合は、そのまま固定資産税が課税されることがありますのでご注意ください。

※次の場合は、届け出不要です。

▷解体後、閉鎖登記が完了している

▷名義変更後、所有権移転登記が完了している

◆届出先・問い合わせ 町税務課資産税係（☎82-3111内線118）へどうぞ。

やめましょう 野良猫への餌やり



町には、飼い主のいない猫（野良猫）への餌やりによって発生する悪臭や過剰な繁殖などへの苦情が多数寄せられています。

飼い主になる覚悟と責任が持てないのであれば、不幸な猫を増やすだけです。無責任な餌やりはすぐにやめましょう。

◎無責任な餌やりで起きること

- ▷猫が繁殖することで縄張り争いが起き、ケガをする猫が増える。
- ▷猫同士の接触やけんかで「猫エイズ」などのさまざまな感染症が流行する。
- ▷雌猫が妊娠や出産を繰り返すことで母体に負担が掛かる。

◎命令違反者に50万円以下の罰金

「動物の愛護及び管理に関する法律」第25条では無責任な餌やりなどによって、周辺の生活環境が損なわれているときは、県が原因者に指導や勧告、命令ができることとされ、同第46条の2では、その命令に違反した場合は、50万円以下の罰金を科すことが定められています。

◆問い合わせ 町町民課環境衛生係（☎82-3111内線126）へどうぞ。

水道管の凍結にご注意



水道管が凍結したときは、蛇口にタオルなどを巻き、上からお湯をかけましょう

なときは水道管の水抜きを行ってください。

※凍結による漏水は原則水道料金の減免の対象外です。

◎水抜きの操作手順

- ①家の中の蛇口を全部閉める
- ②水抜き栓を閉める
- ③蛇口を全開に開ける

凍結した場合は、次の方法で解凍し、できない場合は水道工事店へ依頼しましょう。

◎凍結した時の対処方法

- ①水道管や蛇口にタオルなどの布を巻きつける
- ②上からゆっくりお湯をかけて温める

◆水道工事店一覧

事業所名	問い合わせ
山田ガス(有)	☎82-2986
(有)斎藤設備	☎86-3373
篠澤管工業(有)	☎84-3644
(有)佐藤建業	☎82-9832
(有)最上商店	☎86-2622
木村水道工事店	☎080-1665-3292
(株)堀合建設	☎82-5151
鈴木設備	☎82-3462
サトー設備	☎82-0126
(株)越田工業	☎82-0494
(有)岩手向陽設備山田営業所	☎65-7702

◆問い合わせ 町上下水道課工務係
（☎82-3111内線344）へ。



わたあめおいしいな
(やまだのハロウィン2022)

各種の無料相談 お気軽に利用を

◎宮古地区法律相談

- ▷相談日 12月1日(木)、8日(木)、15日(木)、22日(木)
- ▷時間 午前10時～午後3時
- ▷場所 宮古市役所本庁舎1階(宮古市宮町)
- ▷相談内容 金銭トラブルや相続などの法律問題の悩み事
- ▷申込先 宮古市市民相談室(☎62-2111)

◎山田町法律相談センター

- ▷相談日 12月6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火)
- ▷時間 午前10時～午後3時
- ▷場所 町中央コミュニティセンター第1研修室
- ▷相談内容 法律問題などの悩み事

◆問い合わせ 岩手弁護士会(☎019-623-5005)へどうぞ。

◎行政相談所

- ▷相談日 12月22日(木)
- ▷時間 午後1時半～3時半
- ▷場所 町中央コミュニティセンター第2研修室、集会室
- ▷相談内容 行政機関への意見や要望など

◆問い合わせ 町町民課地域安全係(内線126)へどうぞ。

◎「こまりごとなんでも相談会」

- ▷相談日 12月9日(金)
- ▷時間 午前10時半～正午
- ▷場所 町中央コミュニティセンター相談室

◆問い合わせ 宮古圏域くらしサポートセンター(☎65-8815)へどうぞ。

◎「山田町社協心配ごと相談所」

山田町社会福祉協議会では、生活の悩みや介護、福祉に関わる相談を受け付けています。利用を希望する人は事前にお申し込みください。

◆申込先・問い合わせ 山田町社会福祉協議会(☎080-6033-3599)へどうぞ。

会計年度任用職員募集 12月までに申し込みを

- 町では、税務課で勤務する会計年度任用職員を募集します。
- ▷職務内容 申告書などの発送準備や来客対応など
- ▷応募資格 パソコンを操作できる人
- ▷募集人数 2人
- ▷任用期間 来年1月1日～3月31日
- ▷月額報酬 13万3,135円
- ▷申し込み方法 町町民課や役場各支所に備え付けの履歴書用紙に必要事項を記入し、提出してください。
- ▷申込期限 12月12日
- ◆申込先・問い合わせ 町税務課町民税係(内線112)へ。

障害への理解深め 差別のない社会に

12月3日～9日は「障害者週間」です。障害への理解を深め、誰もが安心して暮らせる社会を目指しましょう。

障害を理由に差別的で不当な扱いを受けたなど、お困りの人はご相談ください。

◎共生社会の実現を目指す「障害者差別解消法」

「障害者差別解消法」では障害の有無にかかわらず、お互いを尊重して暮らせる共生社会の実現を目指し、行政機関や事業者に対して次の二つの規定を定めています。

▷不当な差別的取扱いの禁止
正当な理由なく、障害があることにより、サービスや機会の提供を拒否すること。

▷合理的配慮の義務
障害のない人と平等な機会が得られるように調整すること。

※行政機関は合理的配慮の提供義務、事業者などには提供努力義務が定められています。

◆相談先・問い合わせ 町長寿福祉課地域福祉係(内線151)へどうぞ。

「全国植樹祭」に参加しませんか

- 県では、第73回全国植樹祭の参加者を募集します。参加を希望する人は応募資格を確認し、下記QRコードからお申込みください。
- ▷期日 来年6月4日(日)
- ▷会場 高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)
- ▷内容 ▶天皇、皇后両陛下による手植えや種まき▶参加者による記念植樹
- ▷募集人数 400人程度
- ▷応募資格 ▶個人…県内在住で18歳以上の人▶団体(5人以内)…県内在住で応募者全員が6歳以上であること(代表者は18歳以上)
- ※18歳未満は保護者の承諾が必要です
- ▷申し込みQRコード



- ▷申込期限 12月23日
- ◆問い合わせ 全国植樹祭推進室総務担当(☎019-629-5810)へどうぞ。

17日に「にぎわい市」 家族などでご来場を

- 町では、「山田にぎわい市」を開催します。山田のまちなかに農産物や水産加工品販売のほか、各種屋台も出店しますので、この機会に家族で足を運んでみてはいかがでしょうか。
- ▷期日 12月17日(土)
- ▷時間 午前10時～午後2時
- ▷会場 町中央公園
- ▷主催 山田町
- ▷協力団体 山田町商工会、山田町観光協会
- ▷内容 農産物や水産加工品などの販売、屋台やキッチンカー、フリーマーケットの出店など

◎フリーマーケット出店者募集

- 「山田にぎわい市」でのフリーマーケット出店者を募集します。ご家庭で不要になったおもちゃや服、アクセサリなどを販売しませんか。
- ▷募集店舗数 3店舗
- ※出店は先着順で決定します。
- ▷出店費用 無料
- ▷募集期間 12月1日～9日
- ◆申込先・問い合わせ 町水産商工課商工労働係(内線228)へどうぞ。

織笠地区の古川橋 5日から終日全面通行止め

◇位置図



織笠地区の古川橋は橋梁補修工事のため、終日全面通行止めとします。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- ▷期間 12月5日～来年3月31日
- ▷規制場所 古川橋(町道サギの巣・妻ノ神線)
- ◆問い合わせ 町建設課計画工務係(内線236)へどうぞ。

おめでとう・おくやみ

10月届け出分（敬称略）

〔出生〕（ ）は性別と保護者

▷織笠 阿部夏芽（女・徹）

▷豊間根 外館琥登（男・康志）

〔結婚した二人〕（ ）は住所

西館光樹（滝沢市）・佐々木勝美（豊間根）

〔死亡〕（ ）は年齢

▷山田 佐藤捷一郎（84）、堀合栄子（86）、石川正男（79）、田代雪子（90）、岩本武夫（85）、豊間根徳子（76）、藤原良子（66）、大川ヨシ子（70）、前川四郎（94）、佐々木和歌子（90）、武藤安子（88）、石川正明（62）

▷大浦 川端サツ（100）、佐々木彬雄（80）、渡磯勇治（84）

▷織笠 阿部哲夫（87）、佐々木永陽（89）

▷大沢 佐々木長典（60）

▷豊間根 外館清吉（88）、伊藤ともゑ（101）

▷石峠 瀬川吉治（65）、井上進（81）

▷荒川 村木達治（74）

町民のうごき

（10月1日～31日）

▷出生……3人 ▷転入……20人

▷死亡……28人 ▷転出……22人

▷人口…14,538人（今月減27人）

男…7,112人 女…7,426人

▷世帯数………6,488世帯

◆気が付くと年末。今年も「コロナ」にマッकेエされましたが、少しづつイベントが復活し、取材先ではカメラを持って走ったり転んだりした1年でした。来年の走る取材は進に任せます。

◆「1歳になりました」の取材では、得意の「いないいないばあ」で泣かれて心が折れそうでしたが、最後はかわいい笑顔に癒されました。協力いただいた保護者さん、ありがとうございます。



進



※敬称略、（ ）内は地区名・性別・保護者です。



杉本 紗捺
（飯岡・女・晃宣）



堀合 音叶
（飯岡・女・呼人）



大久保 汰珂
（飯岡・男・賢太）



山崎 優生
（船越・女・学）



加藤 瑠華
（田の浜・女・一範）



中村 紗菜
（織笠・女・大和）



内林 衣織
（大沢・女・寛）



岡田 琉信
（大沢・男・章典）



鈴木 千尋
（豊間根・男・勝広）



豊間根 風花
（豊間根・女・忍）



松尾 雪兔
（荒川・男・祐太）

介護家族のための「リフレッシュ教室」

日時 12月15日（木）
午後1時～2時半

場所 町まちなか交流センター

内容 「お正月リース作り」

費用 500円（材料費）

▷対象 家族を介護している
人や介護を受けている人

▷申込期限 12月14日

◆申込先・問い合わせ 山田
町地域包括支援センター（☎
82-3136）へどうぞ。